

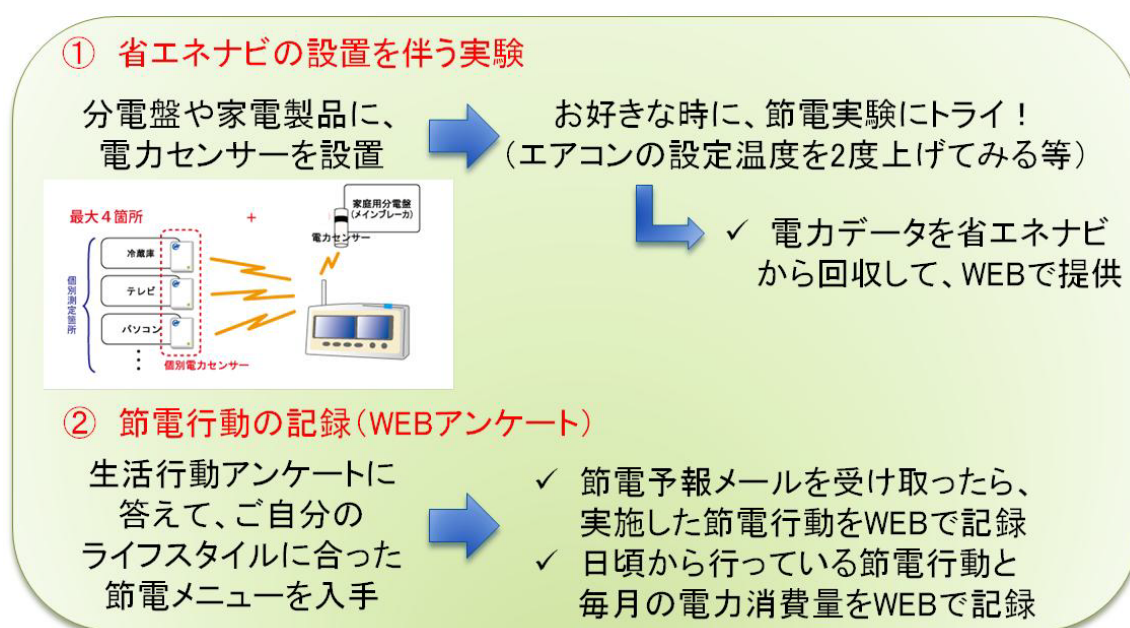
## 実証実験の概要

停電予防連絡ネットワークの実施効果を検証するために、低炭素社会戦略センター（LCS）では以下 2 種類の実証実験を行っています。

実験① 家の電力消費量を計測する機器（省エネナビ）の設置を伴う実験

実験② 節電予報メールを受け取って実施した節電行動の記録（WEB アンケート）

※実験②だけに参加して頂くことも可能です。



### <実験①の目的>

省エネナビが記録した家庭の電力消費量データを収集・分析することによって、停電予防連絡ネットワークから配信される「停電予防メール」が家庭部門の電力ピークカット（※）にどのくらい寄与できたのか検証します。

（※）ピークカットとは・・・電力需要のピーク（頂点）にあたる時間帯の電力消費を低く抑えることをピークカットと呼びます。

### <実験②の目的>

家庭において日頃から取り組まれている節電行動や、停電予防連絡ネットワークから配信される「停電予防メール」を受信したご家庭の方が実際に行った節電行動を調査・分析することによって、“取り組みやすく、かつ節電効果も大きい”節電対策を広く一般に情報発信します。